

第12回 聖籠町教育委員会定例会 議事録

日時：令和5年12月25日（月） 9：30～

場所：聖籠町役場3階 第2会議室

委員出席者

近藤朗教育長・佐藤政志委員・佐久間千都委員・高橋真弓委員・高橋恵委員

事務局出席者

須貝教育未来課長・天野子ども教育課長補佐・佐藤社会教育課長・渡邊図書館長
牧野係長（書記）

○近藤教育長

<開会宣言>

これより令和5年第12回聖籠町教育委員会定例会を開催いたします。

○須貝教育未来課長

<議事録署名委員の指名>

本日の会議録署名委員は佐久間委員にお願いします。<佐久間委員承諾>

○近藤教育長

それでは、私から行政報告をします。

- ・12月日程報告
- ・12月議会答弁について（答弁内容から以下の項目について抽出説明）
アレルギー対応エピペンの練習実施について
学古堂拡充方策及び次年度当初予算編成について
各種会議録の町ホームページ掲載について
児童・生徒の生理による体調不良時の試験対応方法について
- ・青陵学園との包括的連携協定締結への調整進捗状況について

続いて、議案にうつります。議案第28号令和4年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について、お願いいたします。

○須貝教育未来課長

議案第28号令和4年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について（主に前回定例会時協議事項における確認事項に対する修正箇所を説明）

○近藤教育長

今ほどの説明について質問はありますか。

○高橋（真）委員

28ページの施策目標「育ってほしい10の姿」の具現状況について目標100%という表現について、優・良・可のように数値ではなく別の表現にできないか。

○須貝教育未来課長

園における見取りの仕方だと思っていて。おそらくどの子ども、その可能性があっ

て、目標に向かって頑張っているという姿があって、その状況を園ではしっかり捉えているから、取りこぼしている子はいないんだということなんだと思うのですが。

○近藤教育長

今頂いたご意見については、来年度において表現の仕方を検討するという事でお願いいたします。そのほかにご意見はございますか。

○佐久間委員

30 ページの地域学校協働本部サポーター数がありますが、参加人数がだんだん減っているように見えますが、今現在参加人数はどのくらいいますか。

○佐藤社会教育課長

登録人数自体はそれほど減ってなく、3校で280人くらいです。ただ、登録はしているけれど実際活動に参加している人数はどれくらいあるかという、やはり登録人数からは少なくなります。

○近藤教育長

評価基準の見直しということよりも、コロナか何かの理由により人数が減っているのではないか、コロナも収まって人数が増えていくのではないかというご意見でしょうか。

○佐久間委員

コロナや何等かの理由による減というよりも、意欲が減っているように感じるものですから。

○佐藤社会教育課長

意欲の低下という点についてですが、サポーター登録していただき実働してくださる方々の年齢層を見ますと、60歳を過ぎた方が多く活動していただいています。その中で雇用年齢が延びて、再任用とかで働く年齢が延びましたので、その関係で働く方が増えましたので、サポーター活動をお願いしても、ちょっと待ってくれという方もいますので。呼びかけは継続していくつもりです。

○佐久間委員

私たちより年齢が上の方が多くいますが、その方々が「私たちはもうくたびれているからなんとかしてよ。」という方がいたものですから。あと、もうお辞めになった方もいますし。わかりました。

○近藤教育長

ほかにありますか。

○佐藤委員

16 ページの英検についてですが、中学3年生のみということになったんですね。3年生のみに限定しなければならない理由があるのかなと思ひまして。1年生や2年生でも3級とる生徒はいるわけで。3年生の時に受検して3年生の時に合格した子だけに限定すると、すでに合格している子は入らないですよ。細かいんですけど気になってちょっと確認したくて。

○須貝教育未来課長

おっしゃる通りで、中学3年生までに取得した子もしっかり評価した方が良いということですね。

○佐藤委員

3年生に限定しなければならない理由があるのか、ということなんですよね。

○近藤教育長

これは、3年生の時に取ったという数値ではなかったですよ。3年生の中で、過去に合格した人も合わせて何人かという数字じゃなかったでしたっけ。

○佐藤委員

そこがとても曖昧で。中学校1、2、3学年なのか、第3学年なのかというのをはっきりしないと変わりますね。ということをお話させていただいて、回答は3年生、第3学年ということだったんです。それで中学校2年生以下の3級取得者はカウントされるのかという確認なんです。

○近藤教育長

さきほど議会の説明の中で落としていましたけれど、英語検定料の補助についても後押しのご意見をいただいております。全額補助はできないのか、とか複数回の補助はできないのかというご意見です。全額補助については町の補助のルールがございますので、それによるものかなと思いますし、ただ回数を増やす方向については、今後探っていける余地があるかなと思っております。

そうした時に、この基準が、こうやって測定するんですということはしっかり定まっていないと。どちらにもとれるようなものになっていたかもしれないので、そのところについては、確認をしていきたいと思っております。

よく新聞などで出る英検3級合格者の割合については、国は5割を目指しているわけですが。どうやってその割合を出しているのか、国の50%とはどの母数に対する割合なのかという点についても確認して、県に確認すればすぐ考え方が出るかと思われるので、整合を取りたいと思っております。

○高橋（真）委員

そうすると、聖籠町の中学3年生で英検3級を持っている人数はもうちょっと増えるということでしょうか。

○須貝教育未来課長

そのところについて確認します。

○佐藤委員

個人的な意見としては、国の求める3級というのは、いつだっていいわけなので。第3学年までの取得者とした方がより実態に近いかな、と思っております。

○近藤教育長

ありがとうございます。ここはちょっと確認しましょう。そのほか、いかがでしょうか。（意見なし）よろしいでしょうか。

では、今ほどご審議いただいた内容で確認がありますので、そのことについて事務局で整理し、まとめた後に教育委員の皆さんにはお届けしたいと思います。

英検のところの修正についてはメールか何かでお知らせいたしますので、各自メールで確認した旨のお返事をいただければと思います。お返事をいただいた段階でこれを公表するように進めていきたいと思っています。ホームページのアップと、議会への提出、町長への提出がありますので、よろしく願いいたします。

では、議案第 28 号についてはちょっと保留ということで、今後書面での議決とさせていただきますことについて、ご了承いただけますでしょうか。(全員了承)

(※当日中に修正箇所を委員確認し、メールで確認回答があったため、議案第 28 号令和 4 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等については議決されたもの。)

それでは、定例報告に入りたいと思います。教育未来課長、お願いします。

○須貝教育未来課長

- ・実績等に関わる報告事項と実施計画
- ・11 月超過勤務状況
- ・ズボン下ろしに関する注意喚起について
- ・生徒指導加配教員配置希望計画について
- ・学校園現場訪問状況、面談、家庭訪問、ケース会議実施状況

○天野子ども教育課長補佐

- ・保育施設建設の民営化及び建設予定地の変更について
- ・学校給食費の収支状況について

○佐藤社会教育課長

- ・実施報告と実施計画について
- ・中学校部活動地域移行の進捗状況について
- ・社会教育だより掲載内容について

○渡邊図書館長

- ・事業実績及び実施計画について
- ・11 月図書館利用状況について

<定例報告に係る主な意見>

・不登校人数の把握に学校間で差があるのは、教職員の気づきのレベルの差によるものなのか、一定基準で件数が挙げられているものなのか。病気欠席など、理由がはっきりしているもの以外の基準が不明確ではないか。

→学校の捉え方によって人数計上に差が出ているので、一定の基準を示す必要があると思われる。

- ・保育施設建設予定地はどこか。

→聖籠中学校近くの用地（口頭説明）

・新設保育施設の0～2歳児の子ども達が、町立幼稚園の3～5歳児と一緒にっていくということか。公立保育施設であれば、0～5歳児までストレート式かと思ったが。

→あくまで0～2歳児は民間施設、3～5歳児は公立幼稚園という別施設になる。ただし、幼児教育という観点では、町の幼児教育センターが核となって、既存の公立幼稚園、私立認定こども園を含め、新しくできる保育施設に関しても、一緒にやっっていこうというお声がけをさせていただくことになるかと思われる。諸々の詳細は保育施設建設期間中に協議していくことになる見込み。すべては新設園に関する議決を経てからになると考えている。

・公設から民営へ方向性が変わったことについて

→当初の建設予定地である蓮瀉地内集落道路では狭く、往来に危険性があるという意見が従来あり、保育施設新設による送迎人数の増加が集落内道路における交通事故等の危険性が高まるという見立てから、建設予定地の変更に至ったもの。

・陸上部の地域移行について、今年試行的に始まっているが、学校の部活動には入っているが、地域部活動に入っていない生徒がいるか。

→具体的に把握はしていないが、その逆パターンはない。

・令和8年度に部活動地域移行は完全移行予定となっているが、令和8年度当初からスタートなのか、年度途中でずれ込むこともあるのか。

→指導者確保の状況による。できれば令和8年度には完全移行したいと考えている。

・部活動指導者確保はうまくいっているのか。教職員は異動するため、教員をあてにできるかどうか不明。やはり地域の有志の協力によるところが大きいのではないか。

→陸上、柔道、野球の指導者確保はできている。そのほかの部活動指導者については確保できそうなもの、予定が立たないものがある状況。引き続き指導者確保に努めていきます。

・休日の部活動指導について、教職員の過労につながらないか心配。

→基本的には部活動の地域移行が教職員の働き方改革につながるものと考えているが、教職員の中には部活動指導に熱意をもって関わっている方もいる。学校管理下の部活動指導なのか、地域部活動なのかで関わり方も異なるものとする。

・部活動の地域移行によって教職員の方々が良い方向に活躍されることを期待する。

○近藤教育長

以上で定例報告を終わります。その他、何かありますか。

○事務局

令和6年定例会開催予定日程表について説明

○近藤教育長

それでは次回の定例会は1月25日（水）と予定されていますが、よろしいですか。（全員了承）

また、毎月の定例会にて次回の開催日を確認し、変更する場合はその都度ホームページでお知らせし、傍聴する方にもわかるように公表していくこととします。

そのほか、事務局ありますか。

○事務局

前回定例会終了後に協議事項として取り扱った聖籠中学校フェンスについての議事録公表について同意確認（全員同意）。

○近藤教育長

それでは、以上で第12回の教育委員会定例会を終了いたします。

上記のとおり、令和5年第12回定例会の会議録に相違ないことを証明する。

令和5年12月25日

教育長

委員
